



巡回だより

令和 5 年 5 月 31 日
中野区立中野東中学校
特別支援教室
No. 2

新年度が始まって 2 か月が経ちました。生徒のみなさんも新しいクラスメイトや担当の先生、そして巡回の担当者にも慣れてきたことと思います。今回は、特別支援教室で教材として使用しているカードゲームをご紹介します。授業ではいろいろなカードゲームをすることがあります。カードゲームでのやり取りを通して皆さんの力を高めることを目的としています。

カードゲームを通して伸ばすことを期待する力

- 自分を表現する力。
- 場面や状況、相手に応じた円滑なコミュニケーションの力。
- 積極的に周囲に働きかける力や協力し合う力。
- 勝つための作戦や手立てを考える力。



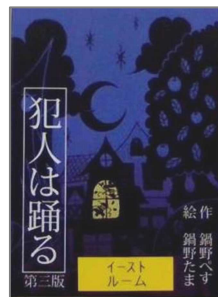
その他にもカードゲームを通して高める力は多くあります。また、ゲームによって、短期記憶や語彙力を高めることを目的としています。

教材として使用しているカードゲームの紹介

「犯人は踊る」

人数 3～8人

各プレイヤーに均等にカードを配り、1枚だけ入っている「犯人カード」を誰が持っているか当てるゲームです。イベントカードを使えば「犯人カード」を他のプレイヤーに渡す事ができます。探偵側は情報を集めて犯人を追いつめて、犯人側は「犯人カード」を他の人に渡し逃げます。



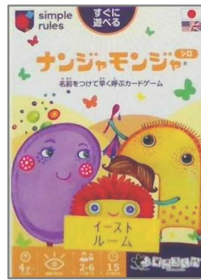
伸ばしたい力

他者と協力してコミュニケーションをとる力、情報から推測する力など。

「ナンジャモンジャ」

人数 2～6人

山札からカードをめくるときに謎の生物にプレイヤーが考えた「オリジナルの名前」をつけます。山札から再び同じカードが現れたら、その名前を誰よりも早く叫ぶというゲームです。

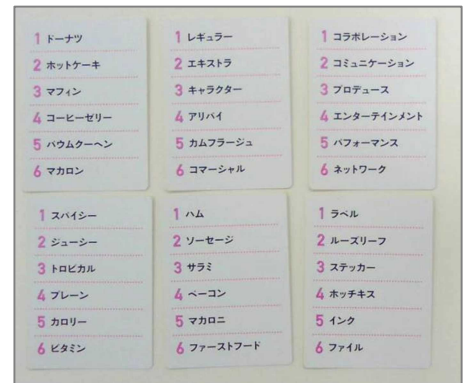
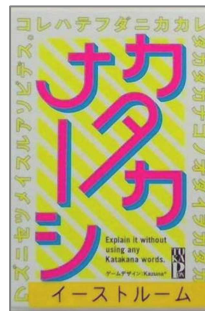


伸ばしたい力 短期記憶や表現力など。

「カタカナシー」

人数 3～8人

手札に書かれたカタカナ語のお題を、カタカナ語を使わずに説明し、みんなに当ててもらおうゲームです。



伸ばしたい力 語彙力や短期記憶など。

「Neu (ノイ)」

人数 2～7人

3枚の持ち札から順にカードを1枚ずつ出し（カードを出したら山札から引いて常に3枚にする）、出した全てのカードの数字を足したり、引いたりしていきます。101までは手札を場に出せますが、101を超えてしまった場合負けとなり、チップを1枚失います。3枚の全てのチップがなくなると負けです。



伸ばしたい力 計算力、短期記憶力など